

A飼料・混合飼料

からだの調子をサポートする

アユルリス®

「アユル & ハーブズ」は、アユル＝インドハーブ、ハーブズ＝ヨーロッパハーブをイメージしております。コーキン化学(株)はそれぞれの食用ハーブの能力を最大限に引き出し、

① 健全な畜・水産の経営 ② 安全・安心な食品づくり

に貢献します。

～それぞれのハーブの特徴～

●インドハーブ(経験的な知識に基づいたハーブの組み合わせを基本とする)

インドにおいて5000年以上にわたり受け継がれてきた伝統的医学「アユルヴェーダ」を基本に食用ハーブの組み合わせにおいて動物に対処的に使用いたします。

・原生している ・粉砕が基本 ・天然の抗酸化物質(バイオフィラボノイド、ビタミンなど)を多く含有する。

●ヨーロッパハーブ(科学的な根拠に基づいた有効成分を基本とする)

2006年にEUにおいて抗菌性飼料添加物の使用が禁止され、それに前後し代替としてのハーブの研究が盛んに行なわれるようになりました。殆どがその成分について言及されており、生産性の向上を目的としております。

・栽培されている ・抽出物が基本 ・安定供給 ・成分の安定

特長

●センシンレン

古来よりインドにおいて血液をきれいにするとされてきました。現在も健康ハーブとして幅広く使用されており、またその有用性も数々報告されています。

●マリアアザミ

白いまだら模様を持っている葉が特徴です。この模様はミルクがこぼれたように見えるために、聖母マリアの乳が葉の上にこぼれたという説から「マリアアザミ」の名前の由来になっています。優しく肝臓をサポートするハーブで古来より愛用されてきました。



含有される原材料

センシンレン抽出物、キクニガナ根粉末、タカサブロウ抽出物、マリアアザミ抽出物、キダチコミカンソウ抽出物、イヌホオズキ抽出物、甘草抽出物、植物油、無水ケイ酸、カボチャの種子末、オオバコの種子末、スイカズラの花末、ベニバナの花末、大豆油、コオウレン根粉末、着香料



賦形物質等

米ぬか油かす



使用方法

・鶏、豚、牛：飼料に対して0.1-0.2%の割合で添加してください。



包装、用量

20kgコーキンカラー袋

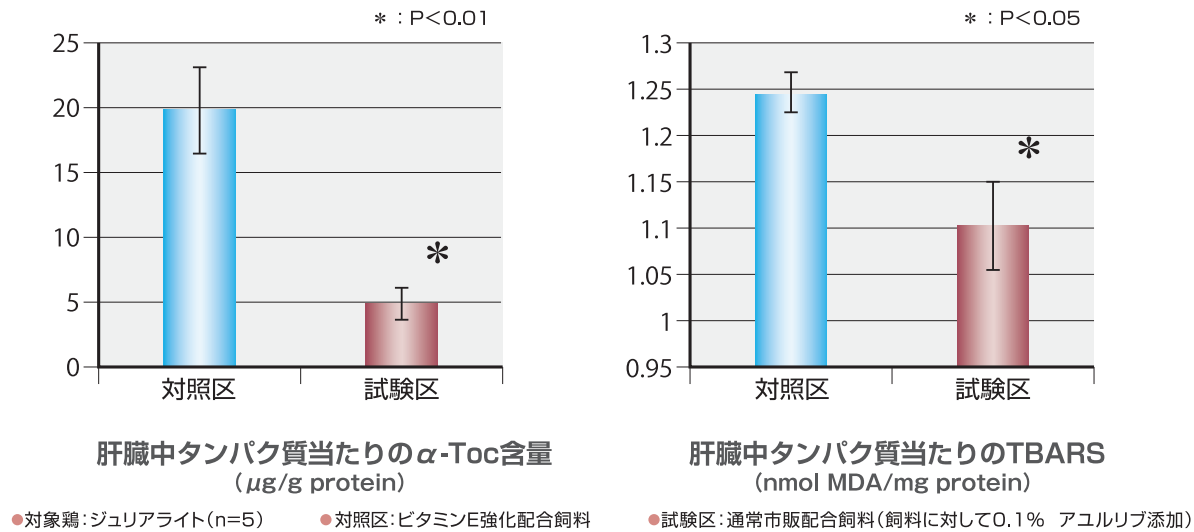
使用上の注意

高温多湿、直射日光を避け保管して下さい。開封後は、速やかにご使用ください。目的以外の用途で使用しないで下さい。

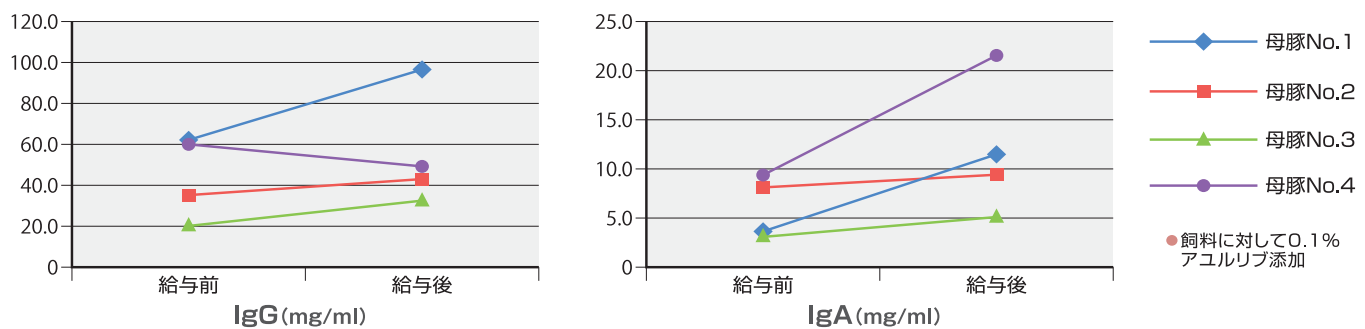


KOHKIN
ayur & herbs
アユル & ハーブズ

採卵鶏にアユルリスを給与することによる肝臓への影響



母豚にアユルリスを給与することによる初乳への影響



アユルリスの免疫活性及び肝機能改善効果

免疫細胞の分析

		血清			
		総IgA	総IgG	IL-18	TNF-α
		(mg/mL)	(mg/mL)	(ng/mL)	(ng/mL)
分娩予定 3日前	対照区平均	3,019	18.7	102.7	40.5
	標準偏差	919	8.1	63.8	34.7
	試験区平均	3,805	11.3	173.0	35.0
	標準偏差	2,765	2.0	82.4	15.6
分娩時	対照区	2,909	18.7 ^a	318.1	48.4
	SD	684	5.7	413.5	31.3
	試験区	2,906	7.8 ^b	51.2	9.6
	SD	2,482	2.9	38.5	6.1
離乳時	対照区	1,194	13.0 ^a	63.3	25.5
	SD	108	3.2	44.1	9.2
	試験区	4,916	19.0 ^b	139.5	13.4
	SD	5,761	1.3	N.C.	4.8

※分娩時では、血清中総IgG、IL-18及びTNF-α濃度が低値を示した。

※離乳時では、血中総IgA及び総IgGの高値化、TNF-α濃度の低値化などの変化が認められた。

血液一般性状

		AST	ALT	総タンパク	中性脂肪	総コレステロール	尿素窒素	クレアチニン	血清血糖
		(U/L)	(U/L)	(g/dL)	(mg/dL)	(mg/dL)	(mg/dL)	(mg/dL)	(mg/dL)
分娩予定 3日前	対照区	18.7	31.3	7.1	73.3	63.3	13.0	1.80	75.3
	SD	7.6	1.2	0.8	35.6	7.8	2.0	0.18	12.9
	試験区	26.3	39.3	6.9	59.7	65.0	12.0	1.65	73.0
	SD	7.8	12.4	0.2	27.3	2.6	1.7	0.34	6.1
分娩時	対照区	34.3	32.0	6.9	15.3	56.7	12.7	2.17	54.3
	SD	5.0	3.6	0.8	8.4	12.7	0.6	0.28	15.5
	試験区	35.0	40.3	7.0	9.7	53.7	15.0	2.09	57.3
	SD	9.8	13.3	0.3	4.2	4.0	3.6	0.43	8.0
離乳時	対照区	32.7	32.7	8.0	23.7 ^a	78.3	12.3	1.67	75.3
	SD	16.9	5.5	1.0	2.1	20.0	1.2	0.29	18.2
	試験区	27.3	37.7	7.2	14.0 ^b	66.0	15.3	1.59	88.7
	SD	7.8	6.7	0.4	1.7	3.6	3.5	0.23	3.1

※離乳時の母豚性状は、ASTおよび中性脂肪濃度で低い値を示した。

※異符号間に有意差あり

●飼料に対して0.2% アユルリス添加



コーキン化学株式会社

本社 〒579-8014 東大阪市石切町3丁目7番49号
 東京事業所 〒101-0047 東京都千代田区神田1丁目7番8号 大手町佐野ビル2F
 大阪事業所 〒579-8014 東大阪市石切町3丁目7番49号
 鹿児島事業所 〒899-8606 鹿児島県曽於市末吉町深川4407番1

TEL.072-988-2501(代) FAX.072-988-2130
 TEL.03-5259-5681 FAX.03-3291-4341
 TEL.072-988-2502 FAX.072-988-2506
 TEL.0986-28-8105 FAX.0986-28-8131